

十勝の食と農の発展を考える シンポジウム

～食料供給基地から6次産業化の先進地区へ～

とき 平成24年2月23日（木） 13:30～16:00（受付開始 13:00～）
ところ とかち館 2階 孔雀の間 帯広市西7条南6丁目2番地

食と農林漁業の再生の基本方針を踏まえた今後の施策方向や、6次産業化に関する取組の現状と課題についての基調講演をもとに、農業者や消費者、関係機関等の意見交換を通して、十勝管内における今後の6次産業化の取組戦略を探ることをねらいに開催します。

【開催内容】

●基調報告

「食と農林漁業の再生の基本方針と
平成24年度の主要施策案」
農林水産省北海道農政事務所長 西岡 篤彦

●基調講演

「農業の6次産業化について」（仮題）
帯広畜産大学 理事・副学長 金山 紀久氏

●パネルディスカッション

テーマ「食料供給基地から6次産業化の先進地域へ」

☆コーディネーター

帯広畜産大学 理事・副学長 金山 紀久氏



北海道生まれ。北海道上川支庁、十勝農業試験場を経て1988年鳥取大、1995年帯広畜産大、2010年から同大学理事・副学長。専門は、食の安全確保に係る行動主体の行動経済学的研究。1995年に地域農林経済学会奨励賞を受賞。著書には「野菜価格の経済分析」（農林統計協会）ほか多数。

☆パネリスト

（株）大野ファーム 代表取締役 大野 泰裕氏

コープさっぽろ 理事 高橋 貴子氏

6次産業化プランナー 伊槻 康成氏



1次産業を茎として、これに2次産業、3次産業という葉がつくことによって、6次産業化という6つの花弁を持つ花*が咲くことをイメージしています。

また、6次産業化の「化」の上に点を2つ付けることで「花」という漢字にかけました。

さらに、蝶のオレンジは稲、花の青は水、茎の緑は木をイメージし、農林漁業者が対象であることを表しています。

【募集人員】

130名 参加費無料

【参加申込方法】

参加を希望される方は、裏面の申込書に必要事項を記載の上、FAXか郵送によりお申し込みください。

【問合せ先】

農林水産省
北海農政事務所帯広地域センター
農政推進グループ（葛西、坂田）
TEL 0155-24-2401
FAX 0155-28-2428
〒080-0016帯広市西6条南7-3
帯広地方合同庁舎

FAX番号 0155-28-2428

「十勝の食と農の発展を考えるシンポジウム」参加申込書

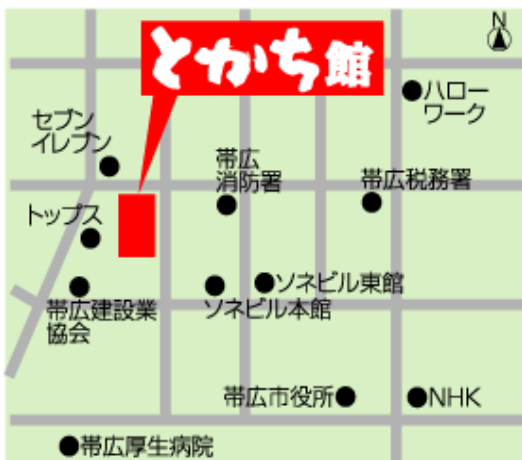
所属	
氏名	
連絡先	勤務先・自宅（いずれかを○で囲んでください） 電話： FAX：

※平成24年2月17日までにFAXまたは郵送（17日必着）でお申し込みください。

注）ご記入いただいた個人情報については、事務局で適切に管理し、本イベントに係る連絡のみに利用いたします。皆様のご承諾なく第三者に提供することはありません。

【会場のご案内】

「とがち館」 〒080-0017 帯広市西7条南6丁目2番地
2階 孔雀の間



●交通アクセス

- ◎帯広駅よりタクシー（約5分）
消防署の西隣とお伝え下さい。
- ◎帯広駅よりバス（約10分）
☆2・7・10・17・31・36系統で
「厚生病院前」下車徒歩1分
☆36系統で「問屋町6丁目」下車
- ◎帯広駅より徒歩（約15分）
- ◎帯広空港より車（約30分）
- ※無料駐車場73台完備
（満車の場合は近隣有料駐車場等をご利用下さい）